

写真・スケッチ

【真狩村歌】



真狩村歌  
作詩・作曲 八洲秀章

一 地の利 人の和 天の時  
雲峰蝦夷器 山麓の  
豊かな自然に 恵まれて  
暮らすわれらの 幸せよ

二 運命はかなき 人の世に  
やさしい心と 思いやり  
喜び かなしみ 分かちあひ  
築く平和な 理想郷

三 生命みなぎる この大地  
先祖の苦労が 身に沁みる  
開拓精神 受け継いで  
目指す希望の 新世紀

【校歌】

<真狩小学校>

真狩小学校校章

真狩小学校校歌

真狩小学校校歌  
作詩・作曲 八洲秀章

一 真狩小学校 真狩村に 命をこらし 誠意の  
熱心な先生 熱心な生徒 熱心な先生 熱心な生徒  
熱心な先生 熱心な生徒 熱心な先生 熱心な生徒

二 真狩小学校 真狩村に 命をこらし 誠意の  
熱心な先生 熱心な生徒 熱心な先生 熱心な生徒  
熱心な先生 熱心な生徒 熱心な先生 熱心な生徒

三 真狩小学校 真狩村に 命をこらし 誠意の  
熱心な先生 熱心な生徒 熱心な先生 熱心な生徒  
熱心な先生 熱心な生徒 熱心な先生 熱心な生徒

<御保内小学校>

真狩村立御保内小学校校歌

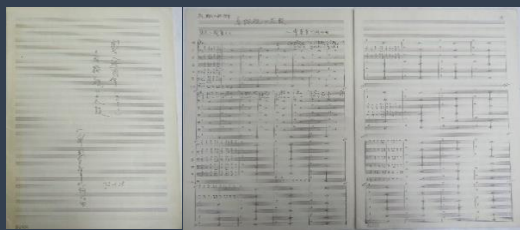
真狩村立御保内小学校校歌  
作詩・作曲 八洲秀章

一 御保内村の 地に 命をこらし 誠意の  
熱心な先生 熱心な生徒 熱心な先生 熱心な生徒  
熱心な先生 熱心な生徒 熱心な先生 熱心な生徒

二 御保内村の 地に 命をこらし 誠意の  
熱心な先生 熱心な生徒 熱心な先生 熱心な生徒  
熱心な先生 熱心な生徒 熱心な先生 熱心な生徒

三 御保内村の 地に 命をこらし 誠意の  
熱心な先生 熱心な生徒 熱心な先生 熱心な生徒  
熱心な先生 熱心な生徒 熱心な先生 熱心な生徒

【真狩祝い太鼓】



真狩祝い太鼓 唄  
作詩・作曲 八洲秀章

一 ヤーソレ めてたやナ  
真狩よいとこ めてたやナ  
(前ばやし以下同様)

二 なれよ ひびけよ  
真狩太鼓 ドント ドントナ  
打てば真狩の 花が咲く

三 心あわせて  
ばちが揃えば 気もはずむ  
あめ雨あいや ドント ドントナ  
深山の小笛合 ドント ドントナ  
晴れの巻を 夢に見る  
あめ雨あいや ドント ドントナ  
あめ雨あいや ドント ドントナ  
あめ雨あいや ドント ドントナ

四 仲睦まじく ドント ドントナ  
笑って 村づくり  
お楽しみよ 今日のお楽しみ

五 生きるよるこび  
お楽しみよ 今日のお楽しみ

<美原小学校(廃校)>

美原小学校校歌

美原小学校校歌  
作詩・作曲 八洲秀章

一 美原小学校 美原村に 命をこらし 誠意の  
熱心な先生 熱心な生徒 熱心な先生 熱心な生徒  
熱心な先生 熱心な生徒 熱心な先生 熱心な生徒

二 美原小学校 美原村に 命をこらし 誠意の  
熱心な先生 熱心な生徒 熱心な先生 熱心な生徒  
熱心な先生 熱心な生徒 熱心な先生 熱心な生徒

三 美原小学校 美原村に 命をこらし 誠意の  
熱心な先生 熱心な生徒 熱心な先生 熱心な生徒  
熱心な先生 熱心な生徒 熱心な先生 熱心な生徒

<真狩高等学校>

真狩高等学校校歌

真狩高等学校校歌  
作詩・作曲 八洲秀章

一 真狩高等学校 真狩村に 命をこらし 誠意の  
熱心な先生 熱心な生徒 熱心な先生 熱心な生徒  
熱心な先生 熱心な生徒 熱心な先生 熱心な生徒

二 真狩高等学校 真狩村に 命をこらし 誠意の  
熱心な先生 熱心な生徒 熱心な先生 熱心な生徒  
熱心な先生 熱心な生徒 熱心な先生 熱心な生徒

三 真狩高等学校 真狩村に 命をこらし 誠意の  
熱心な先生 熱心な生徒 熱心な先生 熱心な生徒  
熱心な先生 熱心な生徒 熱心な先生 熱心な生徒

【真狩小唄】

真狩小唄  
作詩 新田汀花  
作曲 八洲秀章

一 こがね真狩 アスハラさかり  
峰の雪よりなおい  
ソレ小手のさき

二 月がさざめく 泉のみずに  
洗い上げたる 紅丸いもの  
マッシュポテトの肌の色  
ソレ仇な味

三 有珠のどびんに 茶煙たえて  
マツカリヌブリの ふもとの雪に  
出逢う落合銀の橋  
ソレ通い橋

四 土場の里から 美原の丘へ  
雪に土振りや 日もほがらかに  
かんこ唄うよモ ハン林  
ソレ樹木園

【マツカリ音頭】

マツカリ音頭  
作詩 鈴木圭平  
作曲 八洲秀章

一 ハア村はナ  
村はマツカリ日本の宝 ヨイヤサ  
マツカリ産みだす ドント産みだす山の幸  
マツカリヨイヤサ ヨイトコロ  
マツカリヨイヤサ ヨイトコロ  
マツカリヨイヤサ ヨイトコロ

二 ハア作るナ  
作る世界アスハラガスは ヨイヤサ  
遠く世界の 遠く世界の 遠く世界の  
マツカリヨイヤサ ヨイトコロ  
マツカリヨイヤサ ヨイトコロ  
マツカリヨイヤサ ヨイトコロ

三 ハア山はナ  
山は蝦夷富士自慢のお山 ヨイヤサ  
マツカリヨイヤサ ヨイトコロ  
マツカリヨイヤサ ヨイトコロ  
マツカリヨイヤサ ヨイトコロ

四 ハアあの娘ナ  
あの娘可愛や 働き者で ヨイヤサ  
心やさしく 心やさしく 働き者で  
マツカリヨイヤサ ヨイトコロ  
マツカリヨイヤサ ヨイトコロ  
マツカリヨイヤサ ヨイトコロ

五 ハア嫁にナ  
嫁にするならマツカリ娘 ヨイヤサ  
一生後生業 一生後生業 金の蔵  
マツカリヨイヤサ ヨイトコロ  
マツカリヨイヤサ ヨイトコロ  
マツカリヨイヤサ ヨイトコロ

六 ハア老もナ  
老も若きも仲睦まじく ヨイヤサ  
築く楽しい 築く楽しい 理想郷  
マツカリヨイヤサ ヨイトコロ  
マツカリヨイヤサ ヨイトコロ  
マツカリヨイヤサ ヨイトコロ

七 ハア捕たナ  
捕た捕たよ村中が捕た ヨイヤサ  
踊りばやしに 踊りばやしに 気も捕た  
マツカリヨイヤサ ヨイトコロ  
マツカリヨイヤサ ヨイトコロ  
マツカリヨイヤサ ヨイトコロ

八 ハア村のナ  
村の鎮守の八幡さまの ヨイヤサ  
祭りばやしに 祭りばやしに 夜が明けた  
マツカリヨイヤサ ヨイトコロ  
マツカリヨイヤサ ヨイトコロ  
マツカリヨイヤサ ヨイトコロ

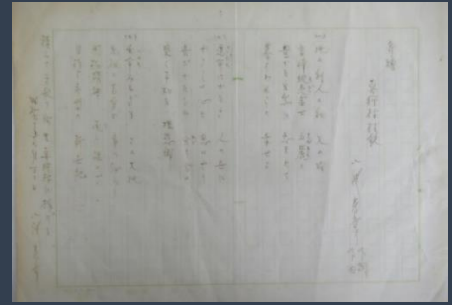
九 ハア御恩ナ  
御恩御恩 御先祖様に ヨイヤサ  
尽くす誠は 尽くす誠は人の道  
マツカリヨイヤサ ヨイトコロ  
マツカリヨイヤサ ヨイトコロ  
マツカリヨイヤサ ヨイトコロ

十 ハア今日もナ  
今日も楽しく 仕事に励みや ヨイヤサ  
家も栄えて 家も栄えて 国も富む  
マツカリヨイヤサ ヨイトコロ  
マツカリヨイヤサ ヨイトコロ  
マツカリヨイヤサ ヨイトコロ

説明（商品名、製造所、使用方法、歴史、時代背景 など）

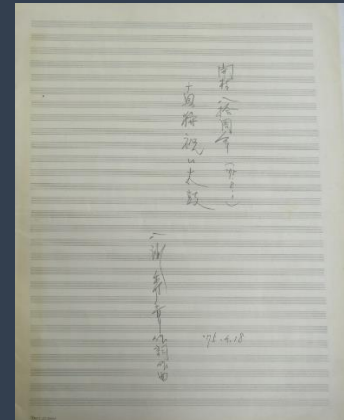
「真狩村村歌」は、真狩村開基百年記念事業の一環として、平成6年3月18日付で真狩村村歌として制定されました。

右資料（ふるさと館所蔵）は、村歌を寄贈いただいた時と思われる直筆の村歌歌詞ですが、左余白に、「謹みてこの歌を郷里真狩村に捧げる  
昭和六十年七月三十日 八洲秀章」と書かれています。



「真狩祝い太鼓」は、昭和50年（1975年）の真狩村開基八十周年を記念して誕生しました。

真狩祝い太鼓が生まれるきっかけとなったのは、その二年前に八洲先生が作曲した富良野彌榮太鼓で、八洲先生が和太鼓の演奏曲も手掛けることを知り、真狩村の開基記念式典に、ぜひ郷土出身の作曲家による和太鼓演奏曲をとの要望が真狩村議会を中心に起こり、八洲先生に依頼をしたところ快諾いただいたということです。



八洲先生は、演奏曲が完成した昭和50年（1975年）4月、村に一週間滞在し、事前に選抜された8名の若い奏者を厳しく指導し、八月の式典当日には、見事な

演奏を披露したといえます。真狩祝い太鼓は、一般的な和太鼓演奏とは異なり、主に女性が担当するシンバル、トライアングル、カスタネット、拍子木、鉦（しょう）のパーカッションが加わり、和太鼓の力強いリズムに、パーカッションの多彩な音色が絡むような連弾は、従来の和太鼓演奏曲にはない華やかな印象です。日本歌謡の最前線で活躍し続けた八洲先生ならではのアレンジといえます。

現在は、初演奏と同時に発足した保存会から次代に伝えた奏法は受け継がれ、平成18年5月30日、真狩村の無形民俗文化財に指定され、「真狩ほくほく祭り」や村のイベントなどで勇壮な太鼓の音色を響かせています。

（継承団体／真狩祝太鼓保存会）

「真狩小唄」は、昭和37年10月28日発表

作詩は新田汀花で、香川県出身で13歳の時に真狩村へ入植し、その後、俳句に関する雑誌や機関誌を創刊し活躍した俳人ですが、大正九年に教員となって各地を巡り、真狩村では教育長も務め、

歌い継がれている。

「マッカー音頭」は、昭和39年に開村七十年を記念し、当時教育委員長であった実兄の鈴木五平が作詞し、八洲先生が曲を書きました。現在は、毎年、村の盆踊りなどで踊られています。

八洲先生は、故郷での積極的な文化活動が認められ、昭和52年、真狩村から「**終身文化功労者**」として表彰されています。